

PRIMERGY BX922 S2 未サポートOS動作検証確認情報

ソフトウェア名称	動作確認結果
	オンボード SATA コントローラ (ソフトウェア RAID)
CentOS 6.2(x86)	○(注5)
CentOS 6.2(x86_64)	○(注5)
CentOS 6.1(x86)	○(注5)
CentOS 6.1(x86_64)	○(注5)
CentOS 6.0(x86)	○(注5)
CentOS 6.0(x86_64)	○(注5)
CentOS 5.7(x86)	○(注5)
CentOS 5.7(x86_64)	○(注5)
CentOS 5.6(x86)	○(注5)
CentOS 5.6(x86_64)	○(注5)
CentOS 5.5(x86)	○(注7)
CentOS 5.5(x86_64)	○(注7)
Scientific Linux 5.5(x86)	○(注7)
Scientific Linux 5.5(x86_64)	○(注7)

凡例
○：インストール可 ×：インストール不可 -：未確認 ※ServerView Agents は対象 OS でインストールのみ確認。
注釈
<ol style="list-style-type: none"> LAN ドライバが必要。 TEXT モードでインストール。 SAS コントローラ対応ドライバ、LAN ドライバが必要。 SAS コントローラ対応ドライバが必要。 SATA コントローラ対応ドライバが必要。 論理的にインストール可。 その他。

PRIMERGY BX922 S2 オンボードSATAコントローラ CentOS 6.2 (x86) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様のご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY BX922 S2

- ・CPU : Intel® Xeon X5507 2.27GHz/4MB/4コア × 4
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・SSD : 64GB × 2
- ・外部記憶 : リモートストレージ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82576 Gigabit Network Connection (rev 02) 【igb】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SE1) (rev 02)
- ・RAID : Intel Corporation 82801JIR (ICH10 Family) SATA RAID Controller 【megasr】

■ディストリビューション

- ・ディストリビューション : CentOS 6.2 (x86)
- ・カーネル版数 : 2.6.32-220.el6.i686

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY BX922 S2 CentOS 6.2 (x86) 2.6.32-220.el6.i686

項番	確認項目	結果
1	SSD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要※1 ※2
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK ※3
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK ※4
7	マウスが使用できるか	OK ※5
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	リモートストレージが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID 5.03-13] のインストール	OK
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView agents 5.50-12] のインストール	OK
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 FTS のサイトより megasr ドライバを入手し適応

URL: <http://support.ts.fujitsu.com/Download/Index.asp>

入手方法は、上記 URL にアクセス後、以下選択を行います。

「Product selection(manual search)」より「Industry standard server」→「PRIMERGY BladeServer」
→「BX900 S1」→「PRIMERGY BX922 S2」→「Red Hat Enterprise Linux」→「Red Hat Enterprise Linux

6(x86)」 → 「SATA RAID」 → 「RHDUP driver package megasr 14.04.0322.2011.4fts-2 for RHEL6.2」

[ドライバ情報]

Date：16.01.2012

Size：0.52MB

Version：14.04.0322.2011.4fts-2-0

Manufacturer：Fujitsu Technology Solutions

※2 「RAID Mode」にて接続

※3 Video Redirection とリモートストレージを用いてインストールをした

※4 Video Redirection のキーボード設定を「日本語」に設定する

※5 マウスポインターのずれを防ぐため、GNOME 端末から「xset m 0 0」を実行し、ビデオリダイレクションウィンドウの「Mouse Sync」をクリックする(GUI ログイン毎に必要)

■インストール手順

1. DVD ブート後、「Install or upgrade an existing system」を選択し、Tab を押します。
2. ブートオプションに「dd」を追加します。
3. megasr ドライバのドライバディスクを読み込ませます。
4. 以降は通常のインストールを実行します。

[-トップへ戻る-](#)

PRIMERGY BX922 S2 オンボードSATAコントローラ CentOS 6.2 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様のご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY BX922 S2

- ・CPU : Intel® Xeon X5507 2.27GHz/4MB/4コア × 4
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 160GB × 2
- ・外部記憶 : リモートストレージ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82576 Gigabit Network Connection (rev 02) 【igb】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・RAID : Intel Corporation 82801JIR (ICH10 Family) SATA RAID Controller 【megasr】

■ディストリビューション

- ・ディストリビューション : CentOS 6.2 (x86_64)
- ・カーネル版数 : 2.6.32-220.el6.x86_64

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY BX922 S2 CentOS 6.2(x86_64) 2.6.32-220.el6.x86_64

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※1 ※2
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK ※3
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK ※4
7	マウスが使用できるか	OK ※5
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	リモートストレージが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID 5.03-13] のインストール	OK
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView agents 5.50-12] のインストール	OK
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 FTS のサイトより megasr ドライバを入手し適応

URL: <http://support.ts.fujitsu.com/Download/Index.asp>

入手方法は、上記 URL にアクセス後、以下選択を行います。

「Product selection(manual search)」より「Industry standard server」→「PRIMERGY BladeServer」
→「BX900 S1」→「PRIMERGY BX922 S2」→「Red Hat Enterprise Linux」→「Red Hat Enterprise Linux
6(x86_64)」→「SATA RAID」→「RHDUP driver package megasr 14.04.0322.2011.4fts-2 for RHEL6.2」

[ドライバ情報]

Date：16.01.2011

Size：0.52MB

Version：14.04.0322.2011.4fts-2-0

Manufacturer：Fujitsu Technology Solutions

※2 「RAID Mode」にて接続

※3 Video Redirection とリモートストレージを用いてインストールをした

※4 Video Redirection のキーボード設定を「日本語」に設定する

※5 マウスポインターのずれを防ぐため、GNOME 端末から「xset m 0 0」を実行し、ビデオリダイレクションウインドウの「Mouse Sync」をクリックする(GUI ログイン毎に必要)

■インストール手順

1. DVD ブート後、「Install or upgrade an existing system」を選択し、Tab を押します。
2. ブートオプションに「dd」を追加します。
3. megasr ドライバのドライバディスクを読み込ませます。
4. 以降は通常のインストールを実行します。

[-トップへ戻る-](#)

PRIMERGY BX922 S2 オンボードSATAコントローラ CentOS 6.1 (x86) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様のご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY BX922 S2

- ・CPU : Intel® Xeon X5507 2.27GHz/4MB/4コア × 4
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・SSD : 64GB × 2
- ・外部記憶 : リモートストレージ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82576 Gigabit Network Connection (rev 02) 【igb】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・RAID : Intel Corporation 82801JIR (ICH10 Family) SATA RAID Controller 【megasr】

■ディストリビューション

- ・ディストリビューション : CentOS 6.1 (x86)
- ・カーネル版数 : 2.6.32-131-0.15.el6.i686

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY BX922 S2 CentOS 6.1 (x86) 2.6.32-131.0.15.el6.i686

項番	確認項目	結果
1	SSD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要※1 ※2
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK ※3
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK ※4
7	マウスが使用できるか	OK ※5
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	リモートストレージが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID 5.03-13] のインストール	OK
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView agents 5.50-12] のインストール	OK
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 FTS のサイトより megasr ドライバを入手し適応

URL: <http://support.ts.fujitsu.com/Download/Index.asp>

入手方法は、上記 URL にアクセス後、以下選択を行います。

「Product selection(manual search)」より「Industry standard server」→「PRIMERGY BladeServer」
→「BX900 S1」→「PRIMERGY BX922 S2」→「Red Hat Enterprise Linux」→「Red Hat Enterprise Linux

6(x86)」 → 「SATA RAID」 → 「RHDUP driver package megasr 14.04.0322.2011-1 for RHEL6.1」

[ドライバ情報]

Date：19.05.2011

Size：0.52MB

Version：14.04.0322.2011-1-0

Manufacturer：Fujitsu Technology Solutions

※2 「RAID Mode」にて接続

※3 Video Redirection とリモートストレージを用いてインストールをした

※4 Video Redirection のキーボード設定を「日本語」に設定する

※5 マウスポインターのずれを防ぐため、GNOME 端末から「xset m 0 0」を実行し、ビデオリダイレクションウィンドウの「Mouse Sync」をクリックする(GUI ログイン毎に必要)

■インストール手順

1. DVD ブート後、「Install or upgrade an existing system」を選択し、Tab を押します。
2. ブートオプションに「dd」を追加します。
3. megasr ドライバのドライバディスクを読み込ませます。
4. 以降は通常のインストールを実行します。

[-トップへ戻る-](#)

PRIMERGY BX922 S2 オンボードSATAコントローラ CentOS 6.1 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様のご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY BX922 S2

- ・CPU : Intel® Xeon X5507 2.27GHz/4MB/4コア × 4
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 160GB × 2
- ・外部記憶 : リモートストレージ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82576 Gigabit Network Connection (rev 02) 【igb】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・RAID : Intel Corporation 82801JIR (ICH10 Family) SATA RAID Controller 【megasr】

■ディストリビューション

- ・ディストリビューション : CentOS 6.1 (x86_64)
- ・カーネル版数 : 2.6.32-131.0.15.el6.x86_64

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY BX922 S2 CentOS 6.1(x86_64) 2.6.32-131.0.15.el6.x86_64

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※1 ※2
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK ※3
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK ※4
7	マウスが使用できるか	OK ※5
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	リモートストレージが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID 5.03-13] のインストール	OK
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView agents 5.50-12] のインストール	OK
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 FTS のサイトより megasr ドライバを入手し適応

URL: <http://support.ts.fujitsu.com/Download/Index.asp>

入手方法は、上記 URL にアクセス後、以下選択を行います。

「Product selection(manual search)」より「Industry standard server」→「PRIMERGY BladeServer」
→「BX900 S1」→「PRIMERGY BX922 S2」→「Red Hat Enterprise Linux」→「Red Hat Enterprise Linux
6(x86_64)」→「SATA RAID」→「RHDUP driver package megasr 14.04.0322.2011-1 for RHEL6.1」

[ドライバ情報]

Date : 19.05.2011

Size : 0.52MB

Version : 14.04.0322.2011-1-0

Manufacturer : Fujitsu Technology Solutions

※2 「RAID Mode」にて接続

※3 Video Redirection とリモートストレージを用いてインストールをした

※4 Video Redirection のキーボード設定を「日本語」に設定する

※5 マウスポインターのずれを防ぐため、GNOME 端末から「xset m 0 0」を実行し、ビデオリダイレクションウィンドウの「Mouse Sync」をクリックする(GUI ログイン毎に必要)

■インストール手順

1. DVD ブート後、「Install or upgrade an existing system」を選択し、Tab を押します。
2. ブートオプションに「dd」を追加します。
3. megasr ドライバのドライバディスクを読み込ませます。
4. 以降は通常のインストールを実行します。

[-トップへ戻る-](#)

PRIMERGY BX922 S2 オンボードSATAコントローラ CentOS 6.0 (x86) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様のご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY BX922 S2

- ・CPU : Intel® Xeon X5507 2.27GHz/4MB/4コア × 4
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 160GB × 2
- ・外部記憶 : リモートストレージ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82576 Gigabit Network Connection (rev 02) 【igb】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・RAID : Intel Corporation 82801JIR (ICH10 Family) SATA RAID Controller 【megasr】

■ディストリビューション

- ・ディストリビューション : CentOS 6.0 (x86)
- ・カーネル版数 : 2.6.32-71.el6.i686

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY BX922 S2 CentOS 6.0 (x86) 2.6.32-71.el6.i686

項番	確認項目	結果
1	SSD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要※1 ※2
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK ※3
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK ※4
7	マウスが使用できるか	OK ※5
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	リモートストレージが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID 5.03-04] のインストール	OK
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView agents 5.10-22] のインストール	OK
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 FTS のサイトより megasr ドライバを入手し適応

URL: <http://support.ts.fujitsu.com/Download/Index.asp>

入手方法は、上記 URL にアクセス後、以下選択を行い入手できます。

「Product selection(manual search)」より「Industry standard server」→「PRIMERGY BladeServer」
→「BX900 S1」→「PRIMERGY BX922 S2」→「Red Hat Enterprise Linux」→「Red Hat Enterprise Linux

6(x86)」 → 「SATA RAID」 → 「RHDUP driver package megasr 14.04.0322.2011-1 for RHEL6 GA」

[ドライバ情報]

Date：07.04.2011

Size：2.15MB

Version：14.04.0322.2011-1-2

Manufacturer：Fujitsu Technology Solutions

Status：Released for PRIMERGY BX922 S2

※2 「RAID Mode」にて接続

※3 Video Redirection とリモートストレージを用いてインストールをした

※4 Video Redirection のキーボード設定を「日本語」に設定する

※5 マウスポインターのずれを防ぐため、GNOME 端末から「xset m 0 0」を実行し、ビデオリダイレクションウインドウの「Mouse Sync」をクリックする(GUI ログイン毎に必要)

■インストール手順

1. DVD ブート後、「Install or upgrade an existing system」を選択し、Tab を押します。
2. ブートオプションに「dd」を追加します。
3. megasr ドライバのドライバディスクを読み込ませます。
4. 以降は通常のインストールを実行します。

[-トップへ戻る-](#)

PRIMERGY BX922 S2 オンボードSATAコントローラ CentOS 6.0 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様のご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY BX922 S2

- ・CPU : Intel® Xeon X5507 2.27GHz/4MB/4コア × 4
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 160GB × 2
- ・外部記憶 : リモートストレージ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82576 Gigabit Network Connection (rev 02) 【igb】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・RAID : Intel Corporation 82801JIR (ICH10 Family) SATA RAID Controller 【megasr】

■ディストリビューション

- ・ディストリビューション : CentOS 6.0 (x86_64)
- ・カーネル版数 : 2.6.32-71.el6.x86_64

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY BX922 S2 CentOS 6.0(x86_64) 2.6.32-71.el6.x86_64

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※1 ※2
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK ※3
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK ※4
7	マウスが使用できるか	OK ※5
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	リモートストレージが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID 5.03-04] のインストール	OK
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView agents 5.10-22] のインストール	OK
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 FTS のサイトより megasr ドライバを入手し適応

URL: <http://support.ts.fujitsu.com/Download/Index.asp>

入手方法は、上記 URL にアクセス後、以下選択を行い入手できます。

「Product selection(manual search)」より「Industry standard server」→「PRIMERGY BladeServer」
→「BX900 S1」→「PRIMERGY BX922 S2」→「Red Hat Enterprise Linux」→「Red Hat Enterprise Linux
6(x86_64)」→「SATA RAID」→「RHDUP driver package megasr 14.04.0322.2011-1 for RHEL6 GA」

[ドライバ情報]

Date : 07.04.2011

Size : 2.15MB

Version : 14.04.0322.2011-1-2

Manufacturer : Fujitsu Technology Solutions

Status : Released for PRIMERGY BX922 S2

※2 「RAID Mode」にて接続

※3 Video Redirection とリモートストレージを用いてインストールをした

※4 Video Redirection のキーボード設定を「日本語」に設定する

※5 マウスポインターのずれを防ぐため、GNOME 端末から「xset m 0 0」を実行し、ビデオリダイレクションウィンドウの「Mouse Sync」をクリックする(GUI ログイン毎に必要)

■インストール手順

1. DVD ブート後、「Install or upgrade an existing system」を選択し、Tab を押します。
2. ブートオプションに「dd」を追加します。
3. megasr ドライバのドライバディスクを読み込ませます。
4. 以降は通常のインストールを実行します。

[-トップへ戻る-](#)

PRIMERGY BX922 S2 オンボードSATAコントローラ CentOS 5.7 (x86) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様のご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY BX922 S2

- ・CPU : Intel® Xeon X5507 2.27GHz/4MB/4コア × 1
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 160GB × 2
- ・外部記憶 : リモートストレージ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82576 Gigabit Backplane Connection (rev 02) 【igb】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・RAID : Intel Corporation 82801JIR (ICH10R) SATA RAID Controller 【megasr】

■ディストリビューション

- ・ディストリビューション : CentOS 5.7 (x86)
- ・カーネル版数 : 2.6.18-274.el5PAE

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY BX922 S2 CentOS 5.7 (x86) 2.6.18-274.el5PAE

項番	確認項目	結果
1	SSD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要※1 ※2
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK ※3
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK ※4
7	マウスが使用できるか	OK ※5
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	リモートストレージが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID 5.03-13] のインストール	OK
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView agents 5.30-16] のインストール	OK
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 FTS のサイトより megasr ドライバを入手し適応

URL: <http://support.ts.fujitsu.com/Download/Index.asp>

入手方法は、上記 URL にアクセス後、以下選択を行います。

「Product selection(manual search)」より「Industry standard server」→「PRIMERGY BladeServer」
→「BX900 S1」→「PRIMERGY BX922 S2」→「Red Hat Enterprise Linux」→「Red Hat Enterprise Linux

5(x86)」 → 「SATA RAID」 → 「RHEL5.7 RHDUP PRIMERGY_ALL」

[ドライバ情報]

Date : 29.07.2011

Size : 1,81MB

Version : 1.1

Manufacturer : Fujitsu Technology Solutions

Status : Released for PRIMERGY BX922 S2

※2 「RAID Mode」にて接続

※3 Video Redirection とリモートストレージを用いてインストールをした

※4 Video Redirection のキーボード設定を「日本語」に設定する

※5 マウスポインターのずれを防ぐため、GNOME 端末から「xset m 0 0」を実行し、ビデオリダイレクションウインドウの「Mouse Sync」をクリックする(GUI ログイン毎に必要)

■インストール手順

1. 「boot:」プロンプトが出たところで、「linux dd」を入力しEnter を押します。
2. megasr ドライバのドライバディスクを読み込ませます。
3. 以降は通常のインストールを実行します。

[-トップへ戻る-](#)

PRIMERGY BX922 S2 オンボードSATAコントローラ CentOS 5.7 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様のご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY BX922 S2

- ・CPU : Intel® Xeon X5507 2.27GHz/4MB/4コア × 1
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 160GB × 2
- ・外部記憶 : リモートストレージ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82576 Gigabit Backplane Connection (rev 02) 【igb】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・RAID : Intel Corporation 82801JIR (ICH10R) SATA RAID Controller 【megasr】

■ディストリビューション

- ・ディストリビューション : CentOS 5.7 (x86_64)
- ・カーネル版数 : 2.6.18-274.el5

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY BX922 S2 CentOS 5.7(x86_64) 2.6.18-274.el5

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※1 ※2
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK ※3
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK ※4
7	マウスが使用できるか	OK ※5
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	リモートストレージが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID 5.03-13] のインストール	OK
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView agents 5.30-16] のインストール	OK
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 FTS のサイトより megasr ドライバを入手し適応

URL: <http://support.ts.fujitsu.com/Download/Index.asp>

入手方法は、上記 URL にアクセス後、以下選択を行います。

「Product selection(manual search)」より「Industry standard server」→「PRIMERGY BladeServer」
→「BX900 S1」→「PRIMERGY BX922 S2」→「Red Hat Enterprise Linux」→「Red Hat Enterprise Linux
5(x86_64)」→「SATA RAID」→「RHEL5.7 RHDUP PRIMERGY_ALL」

[ドライバ情報]

Date : 29.07.2011

Size : 1,81MB

Version : 1.1

Manufacturer : Fujitsu Technology Solutions

Status : Released for PRIMERGY BX922 S2

※2 「RAID Mode」にて接続

※3 Video Redirection とリモートストレージを用いてインストールをした

※4 Video Redirection のキーボード設定を「日本語」に設定する

※5 マウスポインターのずれを防ぐため、GNOME 端末から「xset m 0 0」を実行し、ビデオリダイレクションウィンドウの「Mouse Sync」をクリックする(GUI ログイン毎に必要)

■インストール手順

1. 「boot:」プロンプトが出たところで、「linux dd」を入力しEnter を押します。
2. megasr ドライバのドライバディスクを読み込ませます。
3. 以降は通常のインストールを実行します。

[-トップへ戻る-](#)

PRIMERGY BX922 S2 オンボードSATAコントローラ CentOS 5.6 (x86) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様のご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY BX922 S2

- ・CPU : Intel® Xeon X5507 2.27GHz/4MB/4コア × 4
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 160GB × 2
- ・外部記憶 : リモートストレージ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82576 Gigabit Network Connection (rev 02) 【igb】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・RAID : Intel Corporation 82801JIR (ICH10 Family) SATA AHCI Controller 【megasr】

■ディストリビューション

- ・ディストリビューション : CentOS 5.6 (x86)
- ・カーネル版数 : 2.6.18-238.el5PAE

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY BX922 S2 CentOS 5.6 (x86) 2.6.18-238.el5PAE

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要※1 ※2
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK ※3
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK ※4
7	マウスが使用できるか	OK ※5
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	リモートストレージが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成を変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID 5.03-04] のインストール	OK
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView agents 5.10-22] のインストール	OK
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 FTS のサイトより megasr ドライバを入手し適応

URL: <http://support.ts.fujitsu.com/Download/Index.asp>

入手方法は、上記 URL にアクセス後、以下選択を行い入手できます。

「Product selection(manual search)」より「Industry standard server」→「PRIMERGY BladeServer」
→「BX900 S1」→「PRIMERGY BX922 S2」→「Red Hat Enterprise Linux」→「Red Hat Enterprise Linux

5(x86)」 → 「SATA RAID」 → 「RHDUP driver package megasr 14.04.0322.2011-1 for RHEL5.6」

[ドライバ情報]

Date：01.04.2011

Size：1,23MB

Version：14.04.0322.2011-1-0

Manufacturer：Fujitsu Technology Solutions

Status：Released for PRIMERGY BX922 S2

※2 「RAID Mode」にて接続

※3 Video Redirection とリモートストレージを用いてインストールをした

※4 Video Redirection のキーボード設定を「日本語」に設定する

※5 マウスポインターのずれを防ぐため、GNOME 端末から「xset m 0 0」を実行し、ビデオリダイレクションウインドウの「Mouse Sync」をクリックする(GUI ログイン毎に必要)

■インストール手順

1. 「boot:」プロンプトが出たところで、「linux dd」を入力しEnter を押します。
2. megasr ドライバのドライバディスクを読み込ませます。
3. 以降は通常のインストールを実行します。

[-トップへ戻る-](#)

PRIMERGY BX922 S2 オンボードSATAコントローラ CentOS 5.6 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様のご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY BX922 S2

- ・CPU : Intel® Xeon X5507 2.27GHz/4MB/4コア × 4
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 160GB × 2
- ・外部記憶 : リモートストレージ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82576 Gigabit Network Connection (rev 02) 【igb】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・RAID : Intel Corporation 82801JIR (ICH10 Family) SATA AHCI Controller 【megasr】

■ディストリビューション

- ・ディストリビューション : CentOS 5.6 (x86_64)
- ・カーネル版数 : 2.6.18-238.el5

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY BX922 S2 CentOS 5.6(x86_64) 2.6.18-238.e15

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※1 ※2
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK ※3
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK ※4
7	マウスが使用できるか	OK ※5
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	リモートストレージが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now ” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID 5.03-04] のインストール	OK
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView agents 5.10-22] のインストール	OK
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 FTS のサイトより megasr ドライバを入手し適応

URL: <http://support.ts.fujitsu.com/Download/Index.asp>

入手方法は、上記 URL にアクセス後、以下選択を行い入手できます。

「Product selection(manual search)」より「Industry standard server」→「PRIMERGY BladeServer」
→「BX900 S1」→「PRIMERGY BX922 S2」→「Red Hat Enterprise Linux」→「Red Hat Enterprise Linux

5(x86_64) → 「SATA RAID」 → 「RHDUP driver package megasr 14.04.0322.2011-1 for RHEL5.6」

[ドライバ情報]

Date：01.04.2011

Size：1,23MB

Version：14.04.0322.2011-1-0

Manufacturer：Fujitsu Technology Solutions

Status：Released for PRIMERGY BX922 S2

※2 「RAID Mode」にて接続

※3 Video Redirection とリモートストレージを用いてインストールをした

※4 Video Redirection のキーボード設定を「日本語」に設定する

※5 マウスポインターのずれを防ぐため、GNOME 端末から「xset m 0 0」を実行し、ビデオリダイレクションウインドウの「Mouse Sync」をクリックする(GUI ログイン毎に必要)

■インストール手順

1. 「boot:」プロンプトが出たところで、「linux dd」を入力しEnter を押します。
2. megasr ドライバのドライバディスクを読み込ませます。
3. 以降は通常のインストールを実行します。

[-トップへ戻る-](#)

PRIMERGY BX922 S2 オンボードSATAコントローラ CentOS 5.5 (x86) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様のご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY BX922 S2

- ・CPU : Intel® Xeon X5507 2.27GHz/4MB/4コア × 4
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・SSD : 64GB × 1
- ・外部記憶 : リモートストレージ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82576 Gigabit Network Connection (rev 02) 【igb】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・SSD : Intel Corporation 82801JIR (ICH10 Family) SATA AHCI Controller 【ahci】

■ディストリビューション

- ・ディストリビューション : CentOS 5.5 (x86)
- ・カーネル版数 : 2.6.18-194.el5PAE

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY BX922 S2 CentOS 5.5 (x86) 2.6.18-194.el5PAE

項番	確認項目	結果
1	SSD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準 ※1
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK ※2
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK ※3
7	マウスが使用できるか	OK ※4
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	リモートストレージが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView] のインストール	OK ※5 ※a
24	片側の SSD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で SSD を抜き、起動する	—
25	片側の SSD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の SSD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の SSD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の SSD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 BIOS セットアップで、「SATA RAID Enable」を Disabled、「SATA AHCI Enable」を Enabled に設定する

※2 ビデオリダイレクションとリモートストレージを利用してインストールを行った

※3 ビデオリダイレクションのキーボード設定を「日本語」に設定する

※4 マウスポインターのずれを防ぐため、GNOME 端末から「xset m 0 0」を実行し、ビデオリダイレクションウィンドウの「Mouse Sync」をクリックする(GUI ログイン毎に必要)

※5 ServerView Agents バージョン V5.00.12 を使用

※a ServerView Agents のみインストール。動作確認は別マシンにインストールした ServerView Operations Manager バージョン V5.00.09(2版)を使用

■インストール手順

1. 「boot:」プロンプトが出たところで「linux nodmraid」と入力し、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

[-トップへ戻る-](#)

PRIMERGY BX922 S2 オンボードSATAコントローラ CentOS 5.5 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様のご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY BX922 S2

- ・CPU : Intel® Xeon X5507 2.27GHz/4MB/4コア × 4
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・SSD : 64GB × 1
- ・外部記憶 : リモートストレージ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82576 Gigabit Network Connection (rev 02) 【igb】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・SSD : Intel Corporation 82801JIR (ICH10 Family) SATA AHCI Controller 【ahci】

■ディストリビューション

- ・ディストリビューション : CentOS 5.5 (x86_64)
- ・カーネル版数 : 2.6.18-194.el5

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY BX922 S2 CentOS 5.5(x86_64) 2.6.18-194.e15

項番	確認項目	結果
1	SSD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準 ※1
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK ※2
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK ※3
7	マウスが使用できるか	OK ※4
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	リモートストレージが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView] のインストール	OK ※5 ※a
24	片側の SSD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で SSD を抜き、起動する	—
25	片側の SSD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の SSD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の SSD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の SSD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 BIOS セットアップで、「SATA RAID Enable」を Disabled、「SATA AHCI Enable」を Enabled に設定する

※2 ビデオリダイレクションとリモートストレージを利用してインストールを行った

※3 ビデオリダイレクションのキーボード設定を「日本語」に設定する

※4 マウスポインターのずれを防ぐため、GNOME 端末から「xset m 0 0」を実行し、ビデオリダイレクションウィンドウの「Mouse Sync」をクリックする(GUI ログイン毎に必要)

※5 ServerView Agents バージョン V5.00.12 を使用

※a ServerView Agents のみインストール。動作確認は別マシンにインストールした ServerView Operations Manager バージョン V5.00.09(2版)を使用

■インストール手順

1. 「boot:」プロンプトが出たところで「linux nodmraid」と入力し、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

[-トップへ戻る-](#)

PRIMERGY BX922 S2 オンボードSATAコントローラScientific Linux 5.5 (x86) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様のご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY BX922 S2

- ・CPU : Intel® Xeon X5670 2.93GHz/12MB/6コア × 2
- ・メモリ : 49GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T × 4
- ・SSD : 64GB × 1
- ・外部記憶 : リモートストレージ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82576 Gigabit Network Connection (rev 02) 【igb】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・SSD : Intel Corporation 82801JIR (ICH10 Family) SATA AHCI Controller 【ahci】

■ディストリビューション

- ・ディストリビューション : Scientific Linux 5.5 (x86)
- ・カーネル版数 : 2.6.18-194.3.1.el5PAE

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY BX922 S2 Scientific Linux 5.5 (x86) 2.6.18-194.3.1.el5PAE

項番	確認項目	結果
1	SSD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準 ※1
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK ※2
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK ※3
7	マウスが使用できるか	OK ※4
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	リモートストレージが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView] のインストール	OK ※5 ※a
24	片側の SSD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で SSD を抜き、起動する	—
25	片側の SSD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の SSD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の SSD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の SSD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 BIOS セットアップで、「SATA RAID Enable」を Disabled、「SATA AHCI Enable」を Enabled に設定する

※2 ビデオリダイレクションとリモートストレージを利用してインストールを行った

※3 ビデオリダイレクションのキーボード設定を「日本語」に設定する

※4 マウスポインターのずれを防ぐため、GNOME 端末から「xset m 0 0」を実行し、ビデオリダイレクションウィンドウの「Mouse Sync」をクリックする(GUI ログイン毎に必要)

※5 ServerView Agents バージョン V5.00.12 を使用

※a ServerView Agents のみインストール。動作確認は別マシンにインストールした ServerView Operations Manager バージョン V5.00.09(2版)を使用

■インストール手順

1. 「boot:」プロンプトが出たところで「linux nodmraid」と入力し、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

[-トップへ戻る-](#)

PRIMERGY BX922 S2 オンボードSATAコントローラScientific Linux 5.5 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様のご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY BX922 S2

- ・CPU : Intel® Xeon X5670 2.93GHz/12MB/6コア × 2
- ・メモリ : 49GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T × 4
- ・SSD : 64GB × 1
- ・外部記憶 : リモートストレージ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82576 Gigabit Network Connection (rev 02) 【igb】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・SSD : Intel Corporation 82801JIR (ICH10 Family) SATA AHCI Controller 【ahci】

■ディストリビューション

- ・ディストリビューション : Scientific Linux 5.5 (x86_64)
- ・カーネル版数 : 2.6.18-194.3.1.el5

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY BX922 S2 Scientific Linux 5.5 (x86_64) 2.6.18-194.3.1.el5

項番	確認項目	結果
1	SSD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準 ※1
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK ※2
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK ※3
7	マウスが使用できるか	OK ※4
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	リモートストレージが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView] のインストール	OK ※5 ※a
24	片側の SSD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で SSD を抜き、起動する	—
25	片側の SSD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の SSD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の SSD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の SSD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 BIOS セットアップで、「SATA RAID Enable」を Disabled、「SATA AHCI Enable」を Enabled に設定する

※2 ビデオリダイレクションとリモートストレージを利用してインストールを行った

※3 ビデオリダイレクションのキーボード設定を「日本語」に設定する

※4 マウスポインターのずれを防ぐため、GNOME 端末から「xset m 0 0」を実行し、ビデオリダイレクションウィンドウの「Mouse Sync」をクリックする(GUI ログイン毎に必要)

※5 ServerView Agents バージョン V5.00.12 を使用

※a ServerView Agents のみインストール。動作確認は別マシンにインストールした ServerView Operations Manager バージョン V5.00.09(2版)を使用

■インストール手順

1. 「boot:」プロンプトが出たところで「linux nodmraid」と入力し、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

[-トップへ戻る-](#)